

スリーアール

# 3Rのススメ。



2024

冬④

今回のシリーズは、京都府の依頼を受けて産廃の3R技術の紹介をしています。先日、京都府内の産廃処分業者を訪問して会社概要や処理技術、今後の方向性などをお聞きしました。

## 特集

### アスファルト合材製造、リサイクルの優等生

光アスコン株式会社

#### 会社概要・PR

光アスコン株式会社は、道路等の舗装合材製造工場として創業し、当初から舗装修繕工事で排出されるがれき類の再生利用に取組み、建設工事におけるリサイクルループの構築に貢献してきました。

現在では、がれき類の破碎・再資源化のほか、医療廃棄物等の焼却・無害化や廃プラ・古紙を原料にRPF（固形燃料）の製造工場を運営し、循環型社会の形成に貢献しています。



#### アスから、コンからの3R技術

アスファルト合材製造設備とがれき類の破碎設備を併設していることで、受入れたアスファルトからは再生アスファルト合材の原材料として使用し、最も有効な再利用を実現しています。

コンクリートガラ等は、舗装下地の路盤材に再資源化し、舗装工事の前工程に再生砕石として供給しており、受入れたアスファルトガラ、コンクリートガラは、すべて再利用されています。

また、弊社ではエコマーク認定を受けた常温合材(YKアスコン)の製造も行っており緊急の小規模補修などにご好評いただいています。

道路で目にするアスファルトは、リサイクル率100%。こうしたリサイクル事業者は府内でも限定されており、社会インフラを支える重要な基盤産業の一つです。

#### 3Rを進めるための課題や要望

がれき類は発生時期と再生材を利用する時期にずれがあり、都市部では広い保管場所の確保等が課題となっています。アスファルトがらにコンクリート片等を混載されると舗装合材への再生利用が困難になる為、分別した搬出の徹底をお願いします。

#### 今後の思い

弊社は、地域の皆様のご理解のもと伏見区横大路で事業を進めてまいりました。今後とも地域社会に求められる会社として、資源の有効活用とCO2削減など環境負荷の低減を目指し着実に歩んでまいります。

新たに設置した中温化設備は、アスファルト合材の最適な施工温度帯を下げる事が出来るため、製造時の加熱温度の低減（省エネ）と共に工場及び現場でのCO2削減が期待され、今後力を入れていきたい技術です。

また、次期焼却施設の建設時には発電等のエネルギー回収など、会社全体での環境負荷低減を検討しています。

光アスコン株式会社



舗装のやり替え工事



破碎施設投入



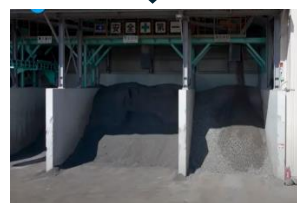
破碎



新たな舗装工事で利用



アスファルト合材製造



再生骨材・路盤材

